

奈労発基 0223 第 2 号
平成 2 8 年 2 月 2 3 日

関係団体の長 殿

奈良労働局長

転倒災害の防止に向けた取組について（協力要請）

- 「STOP！転倒災害プロジェクト」による転倒災害の防止 -

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

奈良労働局では、平成27年から「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を開始しましたが、転倒による工作中的の負傷は、県内の労働災害全体の約2割を占めており、依然として多く発生しています。その中には、骨折などにより休業見込み期間が3か月以上に及ぶなど、重篤なものもあります。

このような状況を踏まえ、昨年取り組んだ「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を、期限を設けずに継続することとし、本年から「STOP！転倒災害プロジェクト」（別添1）として取り組むこととしました。

つきましては、貴団体におかれましても、傘下の会員事業場に対して別添2の資料を配付するなどにより、プロジェクトについて引き続き周知いただくとともに、その趣旨をご理解の上、一層の取組の推進を働きかけていただきますよう、特段の御配慮をお願いします。

事 業 者 殿

奈良労働局長

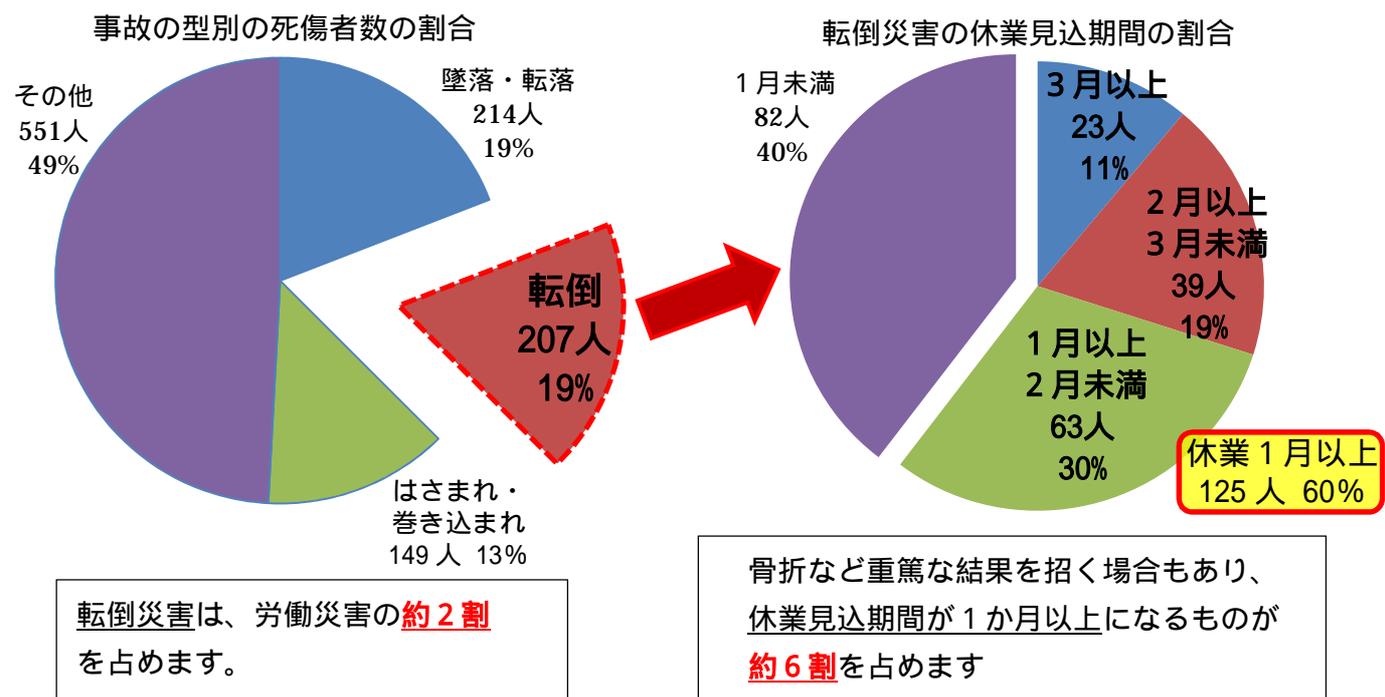
転倒災害の防止に向けた取組について（協力要請）
- 「STOP！転倒災害プロジェクト」による転倒災害の防止 -

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

奈良労働局では、平成27年から「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を開始しましたが、転倒による仕事上の負傷は、県内の労働災害全体の約2割を占めており、依然として多く発生しています。その中には、骨折などにより休業見込み期間が3か月以上に及ぶなど、重篤なものもあります。

このような状況を踏まえ、昨年取り組んだ「STOP！転倒災害プロジェクト 2015」を、期限を設けずに継続することとし、本年から「STOP！転倒災害プロジェクト」として取り組むこととしました。

つきましては、貴社におかれましても、社内の労務管理者、労働者等に対して、転倒を防止するための意識啓発の取組等を行って頂くなどにより、転倒防止の取組の推進を図っていただきますよう、特段の御配慮をお願いします。



死傷者数及び割合はいずれも、平成27年の労働災害発生状況（平成27年12月末時点速報値）から集計（労働者死傷病報告に基づく休業4日以上災害の集計）

転倒災害の種類と主な原因

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも、似たような危険はありませんか？

| 滑り | つまずき | 踏み外し |
|--|---|---|
|  |  |  |
| <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・床が滑りやすい素材である。 ・床に水や油が飛散している。 ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。 | <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・床の凹凸や段差がある。 ・床に荷物や商品などが放置されている。 | <p><主な原因></p> <p>大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。</p> |

転倒災害防止のポイント

転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

| 4S (整理・整頓・清掃・清潔) | 転倒しにくい作業方法 「あせらない急ぐときほど 落ち着いて」 | その他の対策 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・歩行場所に物を放置しない ・床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く ・床面の凹凸、段差などの解消  | <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕を持って行動 ・滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 ・足元が見えにくい状態で作業しない  | <ul style="list-style-type: none"> ・作業に適した靴の着用 ・職場の危険マップの作成による危険情報の共有 ・転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起  |

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

通路、階段、出口に物を放置していませんか

床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか

安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか

転倒を予防するための教育を行っていますか

作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、ちょうど良いサイズのものを選んでいますか

ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか

段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識（ステッカー等）をつけていますか

ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか

ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

このほか、改善方法や好事例などは「職場のあんぜんサイト」の「STOP！転倒災害プロジェクト」をご覧ください。（<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>）

STOP！転倒

検索

本紙に関するお問合せは

奈良労働局健康安全課（☎：0742 - 32 - 0205）又は県内の労働基準監督署まで